



グローバル・オイル株式ファンド

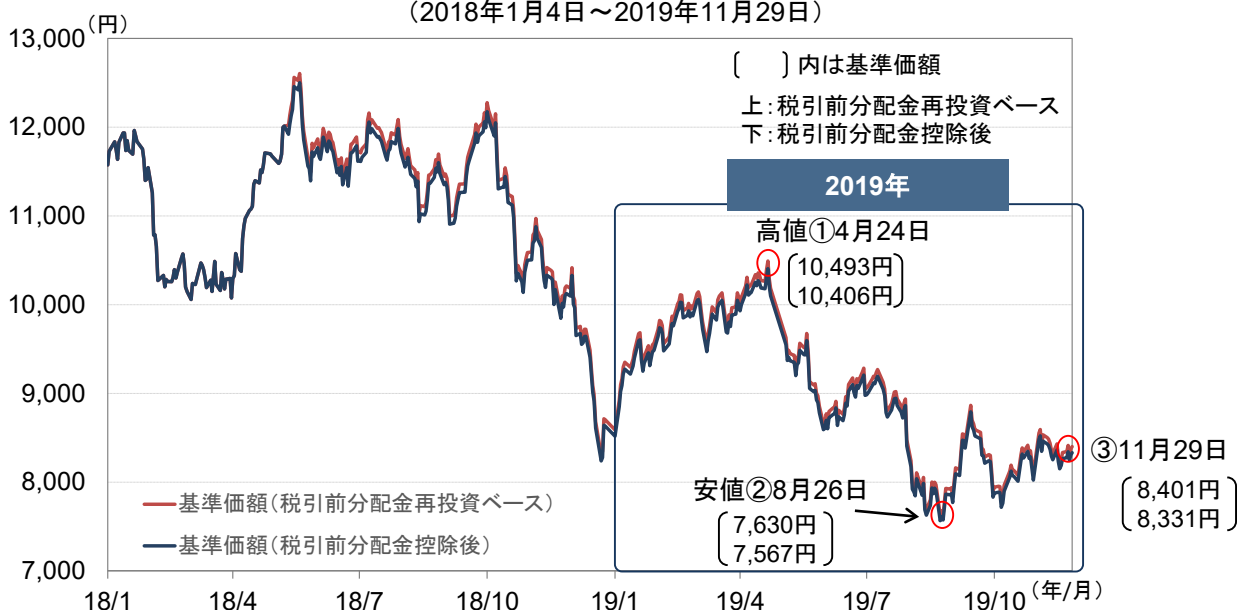
原油価格の反騰一巡後、基準価額は冴えないが、米中協議の更なる進展などはプラスに働こう

2019年の当ファンドの基準価額は、4月24日に高値をつけた後、8月26日にかけて大きく反落し、前年12月につけた安値水準を割り込みました。その後、緩やかな持ち直しに転じたものの、春以降の下げを埋めるまでには至らず、11月末時点で年初来高値を約20%下回っています。

次ページ以降では、今春以降の市場動向と、石油関連株式の今後の見通しなどについてご紹介いたします。

＜当ファンドの基準価額の推移＞

(2018年1月4日～2019年11月29日)



| | 2019年高値① →2019年安値② | 2019年安値② →2019年11月末③ | 2019年高値① →2019年11月末③ |
|-----|-----------------------|-------------------------|-------------------------|
| 騰落率 | ▲27.3% | +10.1% | ▲19.9% |

注: 税引前分配金再投資ベース、同控除後とも同率

- ※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。
- ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。
- ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

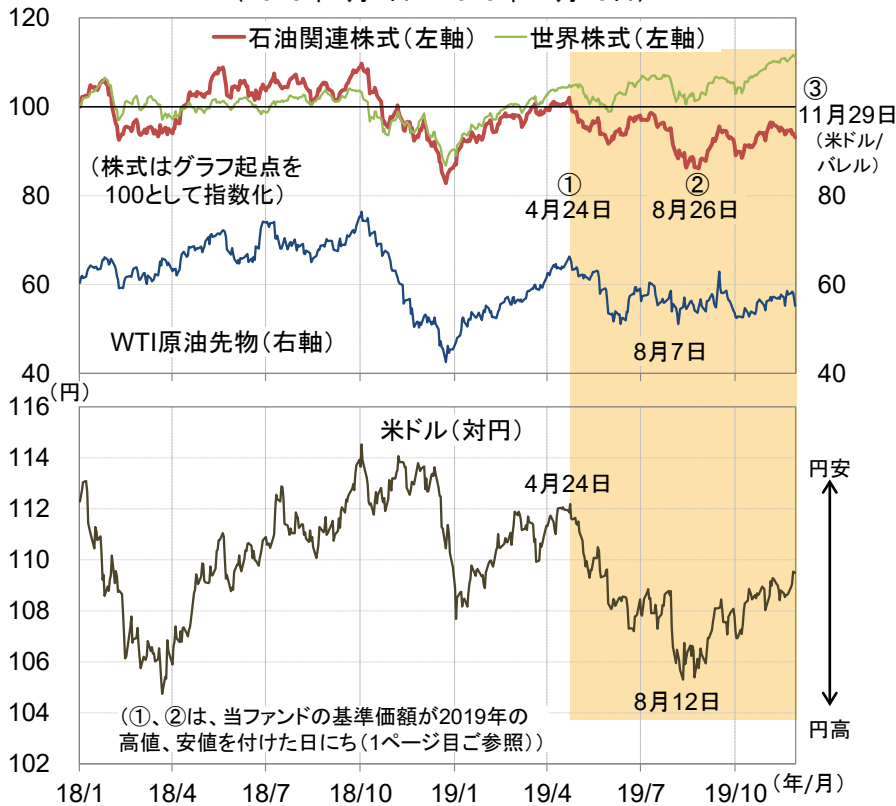
■当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

市場動向 ～原油・石油関連株式は夏場の底打ち後、緩やかに持ち直し～

以下は、今年4月以降の原油および石油関連株式(米ドル・ベース)、為替などの動きを局面ごとにまとめたものです。

<石油関連株式と主な関連指標(米ドル・ベース)及び為替の推移>

(2018年1月2日～2019年11月29日)



石油関連株式: MSCI ACワールド エネルギー株指数(トータルリターン)

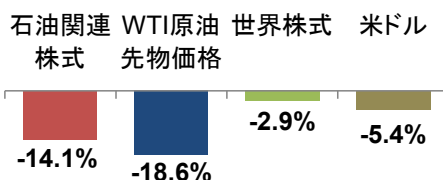
世界株式: MSCI ACワールド指数(トータルリターン)

※上記は当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

<騰落率比較>

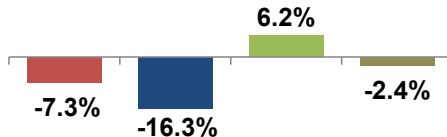
(2019年4月24日①～8月26日②)



(2019年8月26日②～11月29日③)



(2019年4月24日①～11月29日③)



(各期間は、当ファンドの基準価額が2019年の高値、安値を付けた日にち(1ページ目ご参照)をもとに設定)

● グラフの①～②の局面

石油関連株式は、原油が今年の高値をつけた4月23日以降、夏場にかけて大きく売り込まれたのに連れ安となった。また、この間、為替は円高・米ドル安傾向となった。

● グラフの②～③の局面

8月7日に底値をつけた原油が11月末にかけて徐々に下値を切り上げる展開となった。また、米中協議が、紆余曲折を伴いながらも、部分合意を期待させる展開となったことなどを背景に、世界株式が上昇傾向となった。こうした中、石油関連株式も反発したが、夏場にかけての下落を埋めるまでには至らなかった。なお、この間、為替は円安・米ドル高に振れた。

● グラフの①～③の局面(上記2局面の通算)

原油が下落する中、石油関連株式も下落したが、原油に比べ下げは限定的だった。また、為替は円高・米ドル安となった。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

なお、今年の原油価格の主な変動要因は、以下のとおりです。

● **原油価格が高値をつけた4月までの局面** ➡

米中協議の再開・進展、OPEC(石油輸出国機構)加盟・非加盟国による原油の協調減産、中国景気の下振れ懸念の後退、米国によるイラン産原油禁輸措置の免除期間の打ち切りなど

● **その後、原油価格が安値つけた8月までの局面** ➡

米中摩擦に伴う世界景気の悪化懸念、米国での原油在庫の増加など

● **8月以降の局面** ➡

サウジアラビアの石油施設が攻撃を受けたこと、米中協議の進展期待、OPEC加盟・非加盟国による原油の協調減産延長への期待など

運用者の見解 ~世界経済の不確実性が改善に向かえば、当ファンドにプラスに

今後の見通し

- 今後1年間でファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)が改善するとの期待感や、株価が割安になっているという認識が相まって、当ファンドが保有する銘柄の一部に回復の兆しが見られています。
- 石油関連株式においては、財務状況が良好で、豊富な手元資金を備えているとみられる一方、株価は依然として割安かつ魅力的とみられる企業が目立ちます。このため、例えば、米中通商摩擦のような世界経済の成長押し下げ要因が緩和すれば、これら2つの側面から、石油関連株式の株価が押し上げられると見込まれます。

運用方針

- 米中通商関係の改善は、原油市場を中心に、より健全な需要の伸びにつながり、供給ダイナミクスの改善に注目が集まることにつながると予想されます。こうした背景を踏まえ、循環的かつ価格変動性を乗り越えることが期待でき、技術的な優位性や経営上の優位性を活かす安定した石油関連株式への投資に引き続き重点を置いていく方針です。

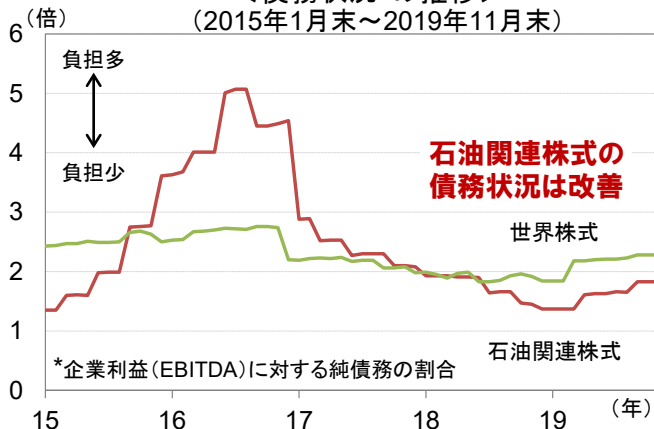
< 予想PERの推移 >

(2015年1月末~2019年11月末)



< 債務状況*の推移 >

(2015年1月末~2019年11月末)



石油関連株式: MSCI ACワールド エネルギー株指数、世界株式: MSCI ACワールド指数

※上記は当ファンドのベンチマークではありません。

信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は、「グローバル・オイル株式ファンド」のマザーファンドの投資顧問会社である日興アセットマネジメント アメリカズ・インクからのコメントをもとに日興アセットマネジメントが作成したものです。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

設定来の運用状況

＜基準価額の推移＞

(2016年6月8日(設定日)～2019年11月29日)

(2019年11月29日時点)



基準価額
(税引前分配金再投資ベース)
8,401円

基準価額
(税引前分配金控除後)
8,331円

＜分配金実績＞

(1万口当たり、税引前)

| 2017年 5月 | 2018年 5月 | 2019年 5月 |
|-------------|-------------|-------------|
| 0円 | 100円 | 0円 |

※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。

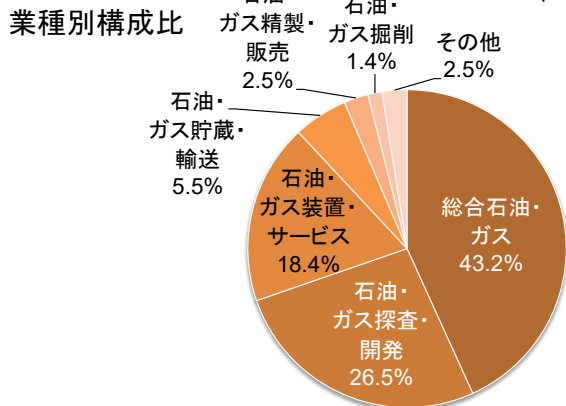
※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上のものであることにご留意ください。

※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

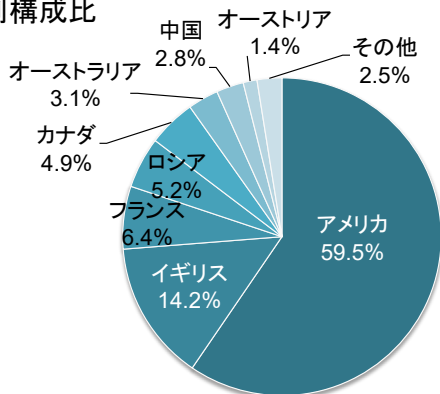
※ 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

＜ポートフォリオの概況＞

(2019年11月末時点)



国別構成比



組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 25銘柄)

| 順位 | 銘柄 | 国名 | 業種 | 比率 |
|----|-----------------------------|------|--------------|------|
| 1 | ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS | イギリス | 総合石油・ガス | 7.5% |
| 2 | CHEVRON CORP | アメリカ | 総合石油・ガス | 7.3% |
| 3 | TOTAL SA | フランス | 総合石油・ガス | 6.4% |
| 4 | EXXON MOBIL CORP | アメリカ | 総合石油・ガス | 6.2% |
| 5 | ONEOK INC | アメリカ | 石油・ガス貯蔵・輸送 | 5.5% |
| 6 | LUKOIL PJSC-SPON-ADR | ロシア | 総合石油・ガス | 5.2% |
| 7 | SUNCOR ENERGY INC | カナダ | 総合石油・ガス | 4.9% |
| 8 | SCHLUMBERGER LTD | アメリカ | 石油・ガス装置・サービス | 4.8% |
| 9 | CONCHO RESOURCES INC | アメリカ | 石油・ガス探査・開発 | 4.5% |
| 10 | EOG RESOURCES INC | アメリカ | 石油・ガス探査・開発 | 4.0% |

※上記データはマザーファンドの状況で、対純資産総額比です。

※各比率は四捨五入により合計が100%とならない場合があります。

※「組入上位10銘柄」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものではありません。

※グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様へ「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

ファンドの特色

- 1 世界の石油関連企業の株式を主な投資対象とします。
- 2 20～30銘柄程度に厳選投資します。
- 3 地政学リスク分析を専門とするユーラシア・グループからの情報・分析を活用します。

※市況動向および資金動向などにより、上記のような運用ができない場合があります。

お申込みに際しての留意事項

■ リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様には帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】
【有価証券の貸付などにおけるリスク】【業種の集中に関するリスク】

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■ その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様は「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めいただくことを目的として日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様には帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認くださいの上、お客様ご自身でご判断ください。

■当資料は、投資者の皆様は「グローバル・オイル株式ファンド」へのご理解を高めいただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。■掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

お申込みメモ

| | |
|----------------|--|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／株式 |
| 購入単位 | 販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。 |
| 購入価額 | 購入申込受付日の翌営業日の基準価額 |
| 信託期間 | 2026年5月12日まで(2016年6月8日設定) |
| 決算日 | 毎年5月12日(休業日の場合は翌営業日) |
| 購入・換金 申込不可日 | 販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 |
| 換金代金 | 原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。 |

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

| | |
|---------|---|
| 購入時手数料 | 購入時の基準価額に対し3.3%(税抜3%)以内 ※購入時手数料は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。 |
| 換金手数料 | ありません。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 |

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

| | |
|------------------|--|
| 運用管理費用 (信託報酬) | ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.826%(税抜1.66%) |
| その他の 費用・手数料 | 目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、 <u>ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。</u> 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息、立替金の利息および貸付有価証券関連報酬(有価証券の貸付を行なった場合は、信託財産の収益となる品貸料に0.55(税抜0.5)を乗じて得た額)などがその都度、信託財産から支払われます。 ※ 運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。 |

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他関係法人

| | |
|--------|--|
| 委託会社 | 日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 |
| 投資顧問会社 | 日興アセットマネジメント アメリカズ・インク |
| 受託会社 | 三井住友信託銀行株式会社 |
| 販売会社 | 販売会社については下記にお問い合わせください。 日興アセットマネジメント株式会社 〔ホームページ〕www.nikkoam.com/ 〔コールセンター〕0120-25-1404(午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。) |

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

| 金融商品取引業者等の名称 | 登録番号 | 加入協会 | | | | |
|--------------|----------|------------------|-----------------|-----------------|--------------------|---|
| | | 日本証券業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 | |
| SMBC日興証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第2251号 | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 株式会社SBI証券 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第44号 | ○ | | ○ | ○ |
| 岡三証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第53号 | ○ | ○ | | ○ |
| 株式会社南都銀行 | 登録金融機関 | 近畿財務局長(登金)第15号 | ○ | | | |
| 松井証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第164号 | ○ | | ○ | |
| 楽天証券株式会社 | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第195号 | ○ | ○ | ○ | ○ |

(50音順、資料作成日現在)